



## 春の訪れとともに大門市開き



新鮮な地元野菜や手づくりの民芸品を求める人でにぎわう大門市の屋台

冬の閉鎖していた平泉寺の大門市が、4月18日、平泉寺白山神社前に約5カ月ぶりに再開されました。この大門市は、平泉寺興隆のころの門前市復活と縁起をかつぎ、昭和63年に平泉寺地区の婦人グループが始めたもので、今では春の訪れを告げる恒例の催しとなっています。当日は、朝9時から、開業期間中の安全と商売繁盛を祈る神事が行われた後、早速屋台に並んだ旬の春野菜や山菜、手作り民芸品などが、待ちわびた人びとに販売されました。また、この日はシシ鍋が、訪れた観光客らに振る舞われました。大門市は、11月23日までの間、ほぼ毎日朝7時から午後3時まで開かれます。

## 「レストハウス長尾山」が完成

長尾山総合公園内に、「レストハウス長尾山」が完成し、4月26日に完成式が行われました。28日から「レストハウス長尾山振興組合」による営業が開始され、このゴールデンウィークには、大勢の観光客で賑わいました。

これまでの販売所にくらべ、売り場面積を大きくし、イメージアップや冷暖房設備によるサービスの向上を図ることで、観光客やリピーターの増加につながることが期待されています。

この「レストハウス長尾山」は、地元の食材を利用した飲食品や土産物の販売のほか、観光案内所や無料休憩所としても活用でき、観光客に対して勝山市をPRできるように配慮されています。

営業時間 AM10:00～PM5:00 87-0086  
定休日 毎月第2・4水曜日



勝山市のPR効果が期待される「レストハウス長尾山」



水面にやさしく鯉を放流するメンバーら

## 大蓮寺川の鯉の放流

平成3年に市から「特色ある地域づくり事業」の委託を受けて発足した「大蓮寺川を美しくする会」(会長：廣瀬好行氏)の鯉の放流事業が今年も行われました。

いまでは、この鯉の放流が旭町1丁目地区の春の風物詩として定着しています。同地区では、鯉の放流事業や地域一斉清掃などの年間を通じた活動と河川清掃作業を重ねることで、河川のゴミが著しく減少し水の浄化も確認されるなど、河川の環境改善と自然環境保全にも役立っています。

この活動は、生き物が相手だけに病気や災害等には常に配慮するなどの苦労もあり、今後は、地区の各種団体とも協力して、地域に根付いた会の活動を続けたいとのことでした。

## 「恐竜さん、これからよろしく」 - 恐竜模型の清掃 -

平泉寺保育園はこのほど、小遠足を兼ねて長尾山総合公園内にある恐竜模型などの清掃作業を行いました。同園では、「国民文化祭ふくい2005」で行われる恐竜児童文学の漫画部門への出展を通じて、園児たちの恐竜への関心がさらに高まってきたことから、この奉仕作業を企画したそうです。

3～5歳の園児19人は、恐竜博物館を見学した後、これまで遠足などで何回か訪れている感謝の気持ちを込めて、公園内にある恐竜模型や滑り台を楽しそうに、一生懸命に磨きました。

同園では、園児たちに、勝山に夢やロマンをもつことで、ふるさとの愛着心をはぐくみ、勝山にずっと住み続けてほしいとの願いから、今後もこのような取り組みを続けていくそうです。



「恐竜さん、ピカピカになって、また遊んでね!」



「うまいもん祭り」に繰り出す市民や観光客

## 満開の桜と春の陽気に誘われて

これまで開催されていた弁天桜祭りをさらに盛り上げようと4月16日と17日の両日、「弁天桜と春のうまいもん祭り」が開催されました。春の穏やかな陽気に誘われて、満開の桜を見ようと、2日間で約3万人の人出でにぎわい、春の食材などを使った「うまいもん」に観光客らは舌鼓を打っていました。

勝山郵便局前と市民活動センターを会場に開催された「春のうまいもん祭り」では、地元農産物の販売やフリーマーケット、そば打ちの体験コーナーのほか、岩魚の塩焼きや、きび・あわ餅などの販売も行われました。このほか、「勝山まちなかスタンプラリー」や、勝山市観光ガイドボランティアが観光客を引き連れてまちなかを散策する光景も見られました。



子どもたちが「まとい」を手に町内を力走!

**火事は絶対に出さないぞ!  
芳野町で恒例の「子供走りやんこ大会」開催**  
市内芳野町の伝統行事「子供走りやんこ大会」が、5月5日、町内一帯で行われ、子どもたちが、防火まといを元気よくリレーして火災防止をアピールしました。これは、市無形民俗文化財「走りやんこ」の子ども版として芳野町子供育成協議会が例年開催しているもので今年が31回目。この日は、42名の小学生とオープン参加の中学生10名が、1周6区間(約900m)を3周するコースを「火の用心」と書かれた長さ1mの「ミニまとい」を手に力走していました。走りやんこ終了後は、消防署職員らの指導で防火教室が開かれ、大人も子どもも防火意識を再確認していました。